

《婦人民主クラブ品川支部 学習会》

日本人「慰安婦」調査から

見えてきたもの

講師：吉川春子氏

日時 11月7日（火）午後1時30分～

場所 荏原第5地域センター 3F第4集会室(和室)
(東急線下神明駅5分)

参加費 ￥500



吉川春子さんは、1983年から参議院議員を4期務め、韓国の女性が被害を告発したことをきっかけに慰安婦問題に一貫して取り組んできました。

警視庁から「慰安婦」関連の資料を出させ、他党と共同し、「慰安婦」問題解決のための法案を数度にわたり提出するなど、その解決に尽力。

国会議員引退後の2010年には、『慰安婦』問題とジェンダー平等ゼミナール』を立ち上げ、日本人「慰安婦」調査に着手。

日本人「慰安婦」…。その存在は知られていたにも関わらず、名乗り出て被害体験を語る事がなかった女性たち。敗戦から72年の年月が経ち、被害を受けた女性たちが新たに名乗り出ることがいよいよ困難になっています。

日本の女性たちが「慰安婦」となった背景や歴史、日本政府の姿勢など、調査から見えてきた問題点を語っていただきます。

主催 婦人民主クラブ品川支部

連絡先 090 (9684) 9303 (大木)